



成年後見制度の利用促進 計画の策定を求める

成年後見制度とは
認知症や知的障がいによって判断能力が不十分な人が、
生活をする上で不利益を被らないよう、「成年後見人」
が本人の代わりに適切な財産管理や契約行為の支援を行
うための制度です。

高齢者サポートセンター、
基幹相談支援センター、「えくる」で行つてい
る。相談件数は令和3
年度は約3200件で
ある。制度の申し立て
件数は、令和3年度は
173件である。令和
4年度からは、業務に
従事する人員を増やし、
さうなる体制の強化を
図つている。

『金子』2025年には、高齢者の5人に一人が認知症になると推計されている。しかし、成年後見制度を利用する人が少ない。支援の現状について伺う。

『福祉部長』本市の高齢者人口のうち、認知症の割合は8%～9%台で推移している。相談は、社会福祉協議会、

「手続きの支援、費用負担軽減を図る」



制度を必要とする方には、申し立ての手続き

『金子』認知症にならない対策と認知症になつても本人の人权が尊重される計画が必要ではないか。

『金子』利用促進の課題は何か。

『福祉部長』制度の認知度のアンケ

ト結果では45%と

不十分だつた。さ

らなる周知啓発と、

報酬費用助成も反映

「現在、基本計画の策定、
利用促進基本計画」

(仮称)策定の作業を

は、申し立ての手続きの支援や費用負担の軽減を図るなど、利用促進の環境を整えていく

『福祉部長』平成28年に「成年後見制度の利用の促進に関する法律」が成立し、市町村の利用促進のための基本的な計画を定めるとされた。これを受け、現在

は95件と増加傾向にあ

り、計画に反映し事業

を促進していきたい。



制度利用者が少ない

9月市議会の一般質問で、私は成年後見制度の利用促進、計画の策定を求めました。その質問・答弁要旨をお知らせします。



カーブミラーが設置されました



宮久保にお住いの方から「市役所北側の踏切の右側にはカーブミラーがあるが、左側にもミラーを設置してほしい」との要望がありました。道路安全課に設置を要望し、このほど実現しました。
(電柱に設置された場所を確認する泉せいいじ市議予定候補)

みなさんと実現した日本共産党 市川大野駅、周辺の実績



- 2006年 駅前広場の設置
2009年 エスカレーター設置
2010年 エレベーター設置
2010年 駅北側の歩道の拡幅
2011年 駅前交差点の歩道改良
2012年 市川駅行バス停の新設
2013年 駅周辺歩道の整備

20年以上前「駅前にロータリーがあればいいのに」との駅利用者の声を聞き、市議会で質問。それに対し、市議会では「駅前は交通が錯綜し、大変危険。駅前広場を検討する」との答弁を引き出し、駅北側に広場を実現させました。

また、住民のみなさんと市川大野駅のバリアフリー化や周辺道路の歩道の安全対策に取り組んできました。



延伸が、2014年10月から北総線の「松飛台駅」まで延伸されました。

駅周辺の歩道整備も2013年度で完了しました。北東部往復ルートは、長年の要望だった大町市営団地までのルート本格運行されました。

住民のみなさんと、2400筆の署名を市に提出し、2013年からコミュニティバス設置が実現しました。

コミュニティバスの運行が実現



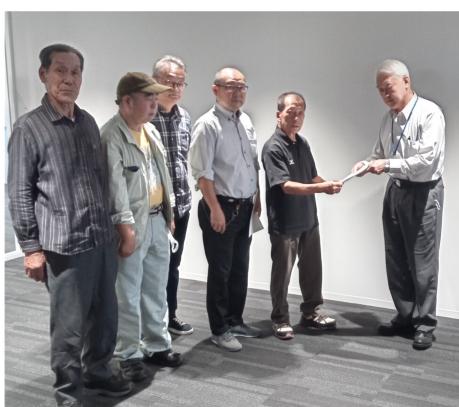
無料法律相談会

【相談日】 【担当弁護士】

11月8日（火）田村陽平
12月13日（火）土居太郎
午後2時から5時

【場所】 第一庁舎6階共産党控室へ

※相談したい方は、事前の予約が必要です。党市議会議員（電話334-1111）共産党控室へご連絡ください。



日本共産党は、市政アンケートで寄せられた要望に対し、現地を調査。10月11日、北東部・原木地域の生活道路やその他の環境問題について、30項目の要望書を田中市長に提出しました。

道路交通安全課長他2人の職員が対応する」と回答。後日、結果は文書で報告がある予定です。

北東部・原木地域の要望書を提出

市民の声を議会に届け、市政の無駄使いなど行政をチエックすることがあります。しかし、議会で発言しない議員もいます。日本共産党の議員はしつかり議会に臨んでいます。

市議会の役割は、議会で発言することがあります。しかし、議会で発言しない議員もいます。日本共産党の議員はしつかり議会に臨んでいます。

編集後記

